



けいかく
こども計画

ばん
(こども版)



令和7年12月
鎌ヶ谷市

鎌ヶ谷市こども計画について

鎌ヶ谷市こども計画ってなに？

鎌ヶ谷市では、こどもや若者が健康に育ち、幸せに生活出来るまちにするため、鎌ヶ谷市こども計画を作りました。

鎌ヶ谷市がこどもに関する取組みをするときに、大事にすることや必要なことを記載しています。



どんなまちを目指すの？

計画の大きな目標（基本理念）

「こどもたち一人ひとりが夢や希望を
持てるまち」を目指します。

誰のためにつくるの？

鎌ヶ谷市に住む全てのこどもや若者、子育てをする人のためにつくっています。

いつまでの計画？

令和7年度から令和11年度までの5年間の計画です。



かまがやし けいかく 鎌ヶ谷市こども計画ができるまで

れいわ ねん がつ
令和5年4月

「こども基本法」ができる

「こども基本法」とは、「日本国憲法」と「児童の権利に関する条約」から、こども施策に関する基本理念等を決め、こども施策を社会全体で進めていくことを目的につくられた法律です。



れいわ ねん がつ
令和5年12月

「こども大綱」ができる

「こども大綱」とは、「こども基本法」を元に、全てのこどもが将来に渡って、幸せに生活を送ることができる「こどもまんなか」の社会を目指すための基本的な方針や重要なことを決めたものです。

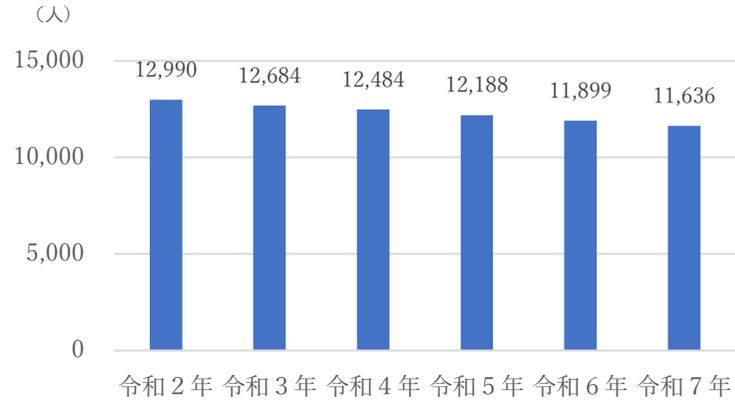
れいわ ねんど
令和6年度

「こども計画」をつくる

市町村は、「こども大綱」と「都道府県こども計画」をもとに、「市町村こども計画」の策定に努めることとされました。鎌ヶ谷市では、これまで推進していた「第2期鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画」を踏まえ、新たに「鎌ヶ谷市こども計画」をつくりました。

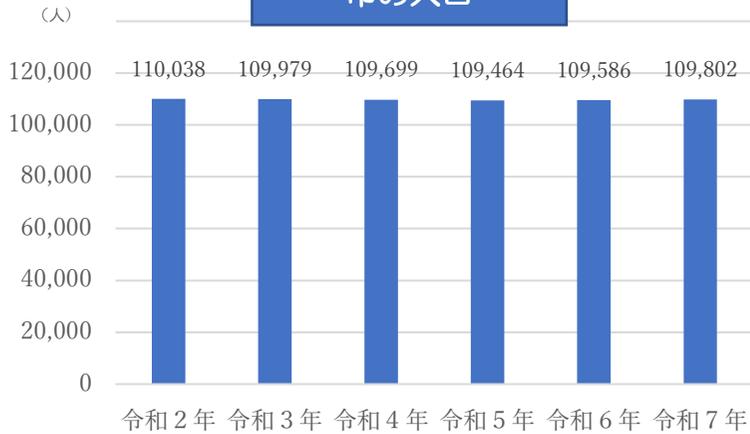
鎌ヶ谷市のこどもに関する状況

15歳未満の人口



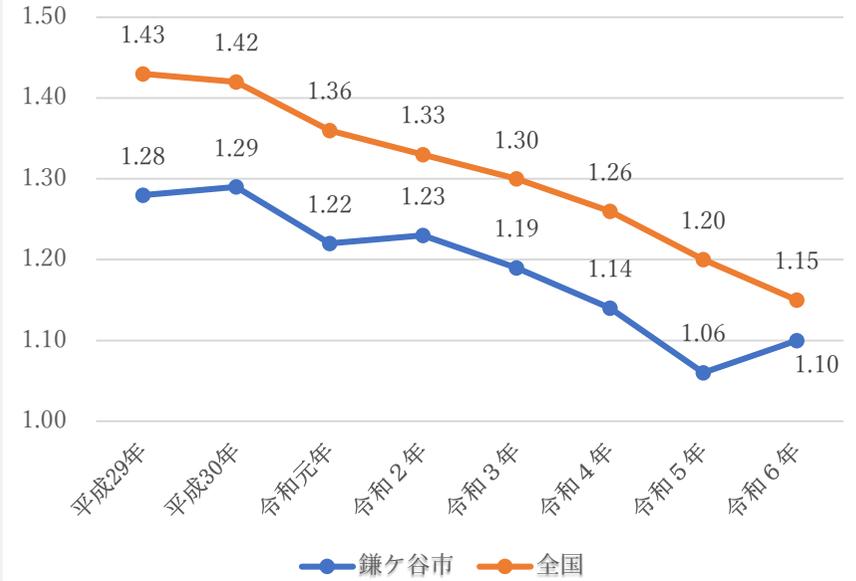
令和7年4月1日現在

市の人口



令和7年4月1日現在

合計特殊出生率



一人の女性が15歳～49歳までに産む子どもの数の平均

鎌ヶ谷市の人口をみると、15歳未満の人口は減っていますが、市の人口は横ばいになっています。

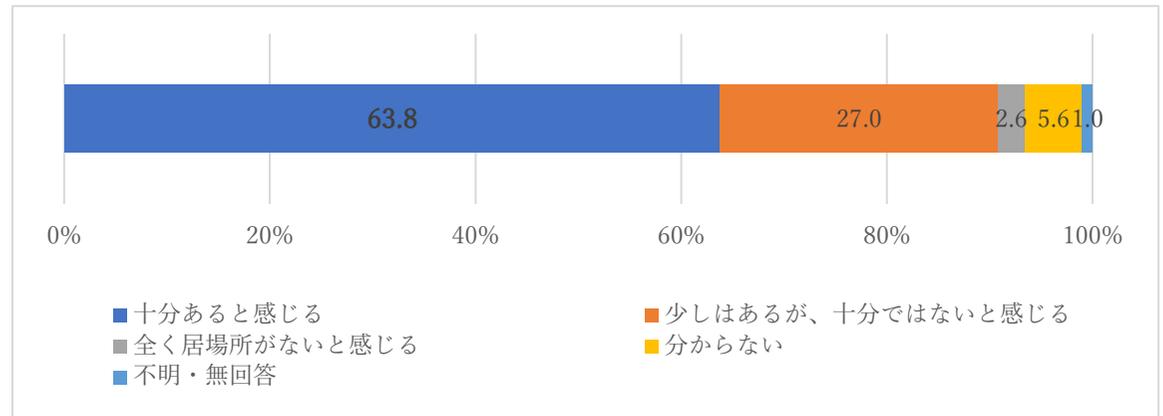


みなさんにアンケート調査をしました！

(中学生アンケートより)

自分にとって、「居場所」だと感じるところが十分あると感じますか？

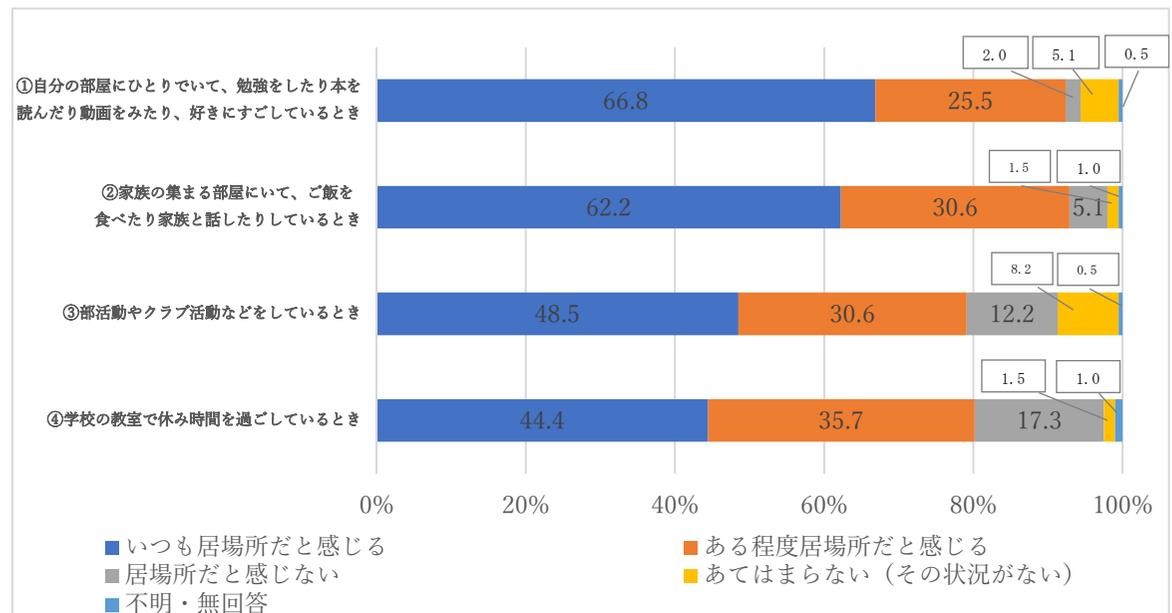
約6割の人が、居場所が十分だと感じています。



どのような時に、そこが居場所になっていると感じますか？

《①自分の部屋にいるとき》、
《②家族の集まる部屋にいるとき》
では約9割が、居場所と感じています。

※「ある程度居場所だと感じる」を含む

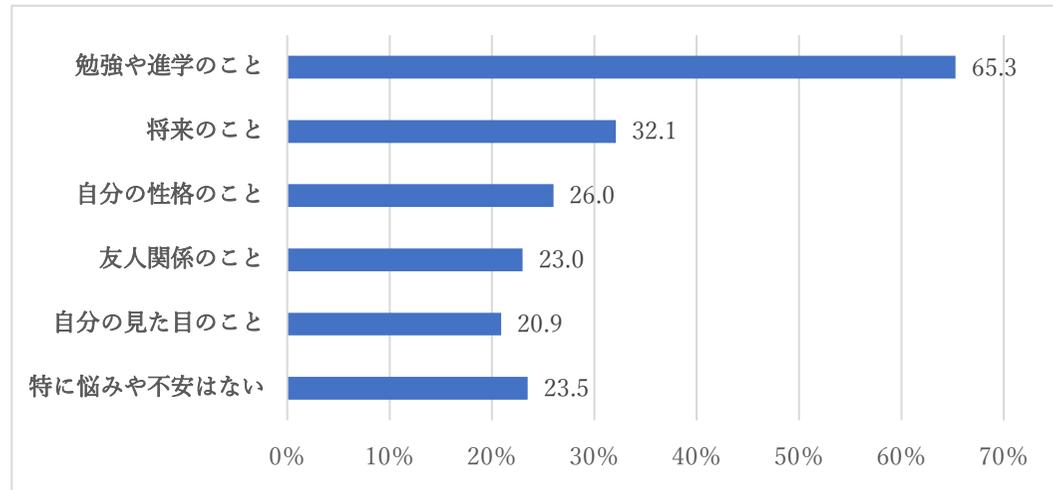


みなさんにアンケート調査をしました！

(中学生アンケートより)

悩んでいることや不安に感じていることはありますか？

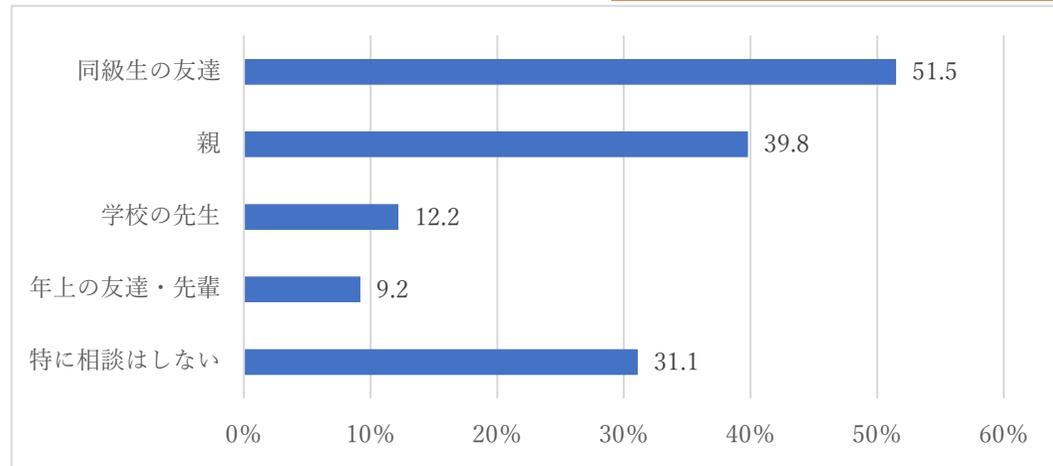
「勉強や進学のこと」が最も多く、次いで「将来のこと」、「自分の性格のこと」となっています。



いくつか選んで答えられる質問です。

悩みや不安を感じたとき、だれに・どこに相談しますか？

「同級生の友達」が51.5%と最も多く、次いで「親」が39.8%となっています。



いくつか選んで答えられる質問です。

基本理念 一鎌ケ谷市が目指すまち一

これまで

(第2期鎌ケ谷市子ども・子育て支援事業計画)

すべての子どもは、『鎌ケ谷市の未来を支える希望』であることを念頭にして、市では『子どもの視点に立った施策』を積極的に展開し、『家庭、行政、学校、地域、事業者など社会全体』で、子どもとその家庭を支援していきます。



けいしょう
継承

これから

「こどもたち一人ひとりが夢や希望を持てるまち」

(鎌ケ谷市子ども計画)

誰もが安心して子どもを生き育て、こどもたち一人ひとりが生まれ育った環境に左右されず、愛情に包まれ、夢と希望を持って、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で成長できるまちの実現を目指します。



5つの目標 —基本目標— ①

鎌ヶ谷市こども計画の基本理念を実現するため、5つの目標をもとに、様々な取組を行います。

目標

1

安心して子どもを産み育てられる社会の実現

子育てに関する様々な悩みや不安に対応する見守り体制を整備するとともに、妊娠期・出産から育児における切れ目のない支援を行います。

また、経済的支援や親子の健康づくりを進め、安心して産み育てられる社会の実現を目指します。

目標

2

すべての子どもが健やかに育つための支援の充実

多様な保育ニーズに対応した事業を実施するとともに、デジタル技術の活用や民間保育所等、放課後児童クラブの環境整備を推進し、サービスの質の向上を図ります。



目標

3

社会全体で子ども・若者を支えるための環境の整備

子育てに関するボランティア活動の促進や、遊び場の確保、居場所づくり、子ども・若者の将来に向けた支援等を行います。



5つの目標 —基本目標— ②

鎌ヶ谷市子ども計画の基本理念を実現するため、5つの目標をもとに、様々な取組を行います。

目標

4

子ども・若者が自分らしく
成長し活躍できる環境づくり

学校教育や生涯学習の充実を
図るとともに、人権や多様性が
尊重される地域づくりを推進す
ることで、互いを尊重しながら
成長できる社会の実現を目指し
ます。

目標

5

きめ細かな支援が必要なこ
ども・若者、子育て家庭への
支援

制度の狭間や孤独・孤立等の
困難を有する子ども・若者に対し
て、積極的な支援を行います。
また、ひとり親家庭への支援及
び子どもの貧困対策を行います。



5つの目標を基に こんなことに取り組みます！

① 高校生3年生までの医療費の全部又は一部を助成します。

② 放課後等のこども達の安全な居場所として、放課後児童クラブを安定的に運営します。

③ 児童センターで魅力あるイベントを実施するとともに、遊具や設備の更新を行います。

④ 児童生徒の登下校時の安全を確保するため、指定通学路に子ども見守りカメラを設置します。

⑤ 公園や緑地、ふれあいの森を整備、活用、保全し、こどもの遊び場を確保します。

⑥ 交通安全意識の向上を図るため、警察職員による講習会や自転車安全教室を開催します。

⑦ 市内中学校の制服を統一し、多様性に配慮した中学校標準服を導入します。



鎌ヶ谷市 こども支援課

〒273-0195 千葉県鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷 2-6-1

TEL : 047-445-1320 (直通)

Mail : kodomosien@city.kamagaya.chiba.jp

「鎌ヶ谷市こども計画」の
本編は、市のホームページ
から見る事が出来ます。

